【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-56351(P2014-56351A)
【公開日】平成26年3月27日(2014.3.27)
【年通号数】公開・登録公報2014-016
【出願番号】特願2012-199916(P2012-199916)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/041　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/041　３３０Ｂ
Ｇ０６Ｆ　3/041　３８０Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成27年9月10日(2015.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像手段を有する本体部と、
表示手段が備えられ、該表示手段の表示面が前記本体部に対向せずに露出するように前記本体部に対して閉じられた閉位置と、該表示手段が前記本体部に対して開かれた開位置とを含む複数の位置に移動可能な可動式の表示部と、
前記表示手段に対するタッチ操作を検知可能であり、前記表示手段の表示可能面よりも大きい範囲でタッチ操作を検知可能なタッチ検出手段と、
前記表示部が前記閉位置にある場合に、前記タッチ検出手段がタッチ操作を検出する有効範囲を、前記表示部が前記開位置にある場合よりも広げるように制御する制御手段と、を備えることを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記表示部が前記閉位置にある場合には、前記タッチ検出手段が有する接触検知領域の全体を前記有効範囲とし、前記表示部が前記開位置にある場合には、前記接触検知領域のうち前記表示可能面を覆っている領域を前記有効範囲とすることを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
撮影中の被写体像を接眼部を通して見ることのできる電子ビューファインダを備え、
前記タッチ操作を検出する範囲を、前記電子ビューファインダに表示することを特徴とする請求項１または２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記表示手段に操作用のアイテムを表示し、前記アイテムの表示に対応した領域へのタッチ操作に応じて前記アイテムへの操作を検出するユーザインターフェースを提供する提供手段を更に備え、
前記提供手段は、前記タッチ操作を検出する範囲の大きさに応じて、前記アイテムの表示に対応した領域の大きさを変えることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記表示手段に操作用のアイテムを表示し、前記アイテムの表示に対応した領域へのタ

ッチ操作に応じてユーザの操作入力を検出する第１のユーザインターフェースと、前記タッチ検出手段へのジェスチャー入力に応じてユーザの操作入力を検出する第２のユーザインターフェースとを提供する提供手段を更に備え、
前記提供手段は、前記表示部が前記閉位置にある場合は前記第２のユーザインターフェースを提供し、前記表示部が前記閉位置以外にある場合に前記第１のユーザインターフェースを提供することを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記タッチ検出手段は、静電容量式のタッチパネルであることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項記載の撮像装置。
【請求項７】
本体部と、
表示手段が備えられ、前記本体部に対して位置または姿勢を変更することが可能な表示部と、
前記表示手段に対するタッチ操作を検知可能なタッチ検出手段と、
前記表示部の前記本体部に対する位置または姿勢に基づいて、前記タッチ検出手段がタッチ操作を検出する有効範囲を変更する制御手段と、を備えることを特徴とする電子機器。
【請求項８】
撮像手段を有する本体部と、
表示手段が備えられ、該表示手段の表示面が前記本体部に対向せずに露出するように前記本体部に対して閉じられた閉位置と、該表示手段が前記本体部に対して開かれた開位置とを含む複数の位置に移動可能な可動式の表示部と、
前記表示手段に対するタッチ操作を検知可能であり、前記表示手段の表示可能面よりも大きい範囲でタッチ操作を検知可能なタッチ検出手段と、を有する撮像装置におけるタッチパネルの制御方法であって、
前記表示部の前記本体部に対する位置を検出する工程と、
前記検出する工程で検出された前記表示部の位置が前記閉位置である場合に、前記タッチ検出手段がタッチ操作を検出する有効範囲を、前記表示部が前記開位置にある場合よりも広げるように制御する制御工程と、を有することを特徴とするタッチパネルの制御方法。
【請求項９】
電子機器におけるタッチパネルの制御方法であって、
表示手段が備えられ、前記電子機器の本体部に対して位置または姿勢を変更することが可能な表示部の位置を検出する工程と、
タッチ検出手段により前記表示手段に対するタッチ操作を検出する工程と、
前記位置を検出する工程で検出された前記表示部の前記本体部に対する位置または姿勢に基づいて、前記タッチ操作を検出する工程でタッチ操作を検出するための有効範囲を変更する工程と、を有することを特徴とするタッチパネルの制御方法。
【請求項１０】
コンピュータを、請求項１乃至６のいずれか１項に記載された撮像装置の各手段または請求項７に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラム。
【請求項１１】
コンピュータを、請求項１乃至６のいずれか１項に記載された撮像装置の各手段または請求項７に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラムを格納した、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。